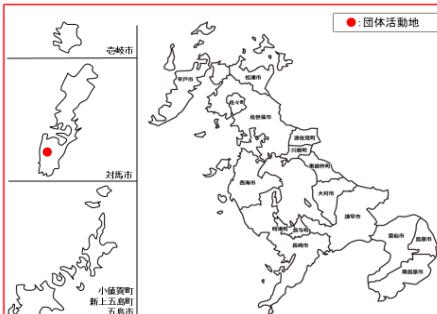


## 森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業

団体名	内山地区炭焼き三氏郎		【取組の概要及び活動期間(令和4年度から令和6年度)】			
団体住所	対馬市		内山地区は古くから炭焼きをしていた集落であり、現在も炭焼きが続いている。薪炭林を炭焼きやシイタケ原木として利用することで、利用しやすい幹の太さのカシ、コナラ林を維持してきた。しかしながら、近年、島内のシカの頭数が増加し、対馬全島でシカやイノシシ等による森林被害が多発している。食害によって萌芽更新が難しくなり、伐採後に枯れてしまうカシやコナラが増えている。林内にはシカが嫌うシロダモ等の樹種が増加しており、これは炭木としては材が軽く利用価値がない。扱い手の高齢化が進んでいるが若手の新規参入もあり炭焼き文化を後世に残したい。このままでは、シカの被害から薪炭林を守るために、防鹿ネットで薪炭林を囲み、森林を再生させ、森林の手入れや利用のしやすいよう作業道も作設する。			
活動区域	対馬市厳原町		薪炭林は炭焼き以外に対馬の主な林産物であるシイタケやはちみつ等にも重要であり。ドングリが実ればネズミ類の餌になり、ツシマヤマネコにとって好適生息環境を作り。落ち葉は土壤を作り薪炭林を守ることは、対馬の資源が豊かになることにもつながる。薪炭林を再生させることで、周辺地域にも同様の取り組みが広がり、対馬全体の薪炭林の保全につながることを期待している。			
構成員数	14名		●:団体活動地			
						
	地域環境保全タイプ		森林資源利用タイプ (ha)	森林機能強化タイプ (m)	関係人口創出・維持タイプ (回)	資機材購入
	里山林保全 (ha)	侵入竹除去 竹林整備(ha)				
令和4年度	2. 1			1, 146		チェーンソー、刈払機、防鹿ネット
活動状況 (写真)						
	令和5年度	1. 8		1, 379		防鹿ネット クヌギ苗
活動状況 (写真)						
令和6年度	4.1					クヌギ 800本
活動状況 (写真)						